



企画にあたって

宮崎晋介 (東京科学大学循環器内科/ 不整脈センター長)

植込み型心臓デバイスはこの10年で目覚ましい進歩を遂げ、新たなデバイスや技術が次々と臨床の現場に導入されています。各デバイスにはそれぞれ固有の特徴があり、臨床現場においてどのデバイスを選択すべきか迷う場面も少なくありません。また、植込み手技においても多くの工夫やいわゆる“tips”が存在します。しかしながら、デバイス植込み症例数には限りがあるため、すべての手技を一人で経験し、習得・習熟することは容易ではありません。

そこで本特集では、若手循環器内科医を主な対象とし、臨床現場ですぐに役立つ実践的かつ実用的な植込み型心臓デバイスの最新情報を提供することを目的としました。各分野のエキスパートの先生方にご執筆いただき、日常診療で直面する課題やその工夫について、丁寧に解説していただいています。素晴らしい原稿をご執筆いただいたすべての著者の先生方に心より感謝申し上げますとともに、本特集がデバイス植込み治療における適切な適応判断と安全な施行の一助となれば幸いです。